

平成29年度 第6回 人権問題都民講座

事件後を生きる

津久井やまゆり園事件と 優生思想



日時: 平成30年3月10日(土)
14:00 - 16:30 (開場13:30)

講師: ^{えびはらひろみ}海老原宏美さん NPO法人自立生活センター東大和
:^{はらしょうへい}原昌平さん 読売新聞大阪本社編集委員

会場: 東京都立多摩図書館 セミナールーム
東京都国分寺市泉町2-2-26 (裏面地図参照)

定員: 80名 (参加無料・要事前申込・応募者多数の場合は抽選)

主催: 東京都人権プラザ (指定管理者・公益財団法人東京都人権啓発センター)

講座フォローアップ企画

映画上映あり

「風は生きよという」

3月24日(土)14:00上映

会場: 東京都人権プラザ本館

海老原宏美さん出演のドキュメンタリー

手話通訳・託児あり

その他、情報保障については
お問い合わせください。

[お申し込み・お問い合わせは]

公益財団法人 東京都人権啓発センター

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル 2F

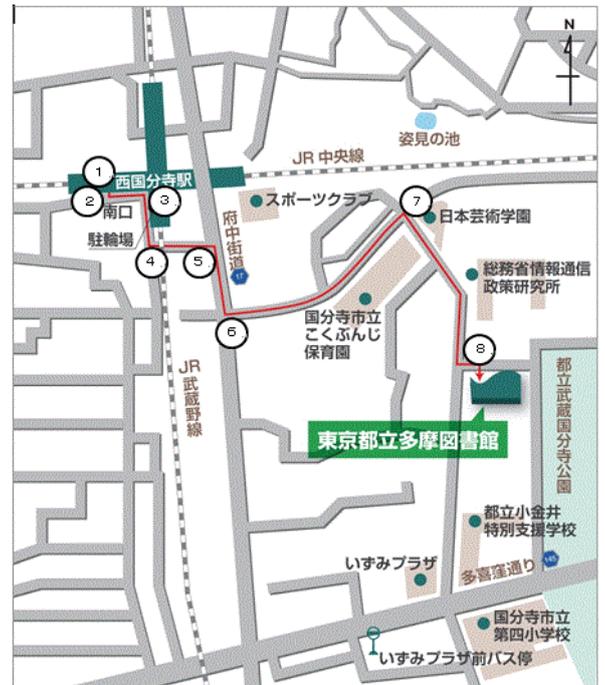
電話 03-6722-0085 FAX 03-6722-0084

神奈川県相模原市の障害者支援施設「津久井やまゆり園」において、入所者19名の命が奪われ、多くの方が負傷するという事件が発生してから1年が経過しました。この事件では、事件を起こした者に見られる優生思想や、世界でおきているヘイトクライムとの共通点などが注目されました。一方で、すでに事件の「風化」が指摘されている中、現在も障害者への偏見や差別が根強くあることを忘れてはなりません。

そこで今回、障害者問題の当事者とジャーナリストを講師として、それぞれの立場から考える「事件後」の社会について話してもらい、対話を通して参加者とともに考える講座を開催します。

【講師】海老原宏美さん

1977年神奈川県生まれ。生後1年半で脊髄性筋萎縮症と確定診断を受ける。小学校から大学まで地域の学校に進学。2001年障害が重度化、02年より人工呼吸器を使用。自立生活センター東大和で障害者の地域生活に関わる権利擁護・相談支援活動等を行っている。



原昌平さん

1959年大阪府生まれ。82年読売新聞大阪本社入社。京都支局、社会部、科学部デスクを経て編集委員。96年から医療問題や、ホームレス・生活保護、非正規労働の問題などに取り組む。ヨミドクター(Yomiuri on line)に「原記者の医療・福祉のツボ」を連載中。大阪府立大学客員研究員。



【交通案内】JR西国分寺駅（中央線・武蔵野線）から

1. 西国分寺駅の改札を出て左に曲がります。
2. 南口の駅敷地内を出たところで左に曲がります。
3. 突き当りに駐輪場が見えますので、そこを右に曲がります。
4. 左側にJR武蔵野線のガードが見えてきますので、そこを左に曲がります。
5. ガード下をくぐり、その先に府中街道がありますので横断して右に曲がります。（府中街道に矢印案内看板が設置されています。）
6. 1つ目の交差点を横断して左に曲がります。（交差点に矢印案内看板が設置されています。）
7. 道なりに約230mほど歩くと交差点がありますので、横断して右に曲がります。（交差点に矢印案内看板が設置されています。）
8. 約140mほど道なりに歩くと左側に都立多摩図書館があります。

電話・FAX・Eメールにてお申し込みください。

お申込先

公益財団法人 東京都人権啓発センター

電話

03-6722-0085

Eメール

fukyu2901@tokyo-jinken.or.jp

FAX申込みフォーム

FAX 03-6722-0084

①お名前(代表者)	参加人数		人
②ご連絡先 (いずれかお選びいただき、ご記入ください。)	電話	FAX	
	メール	@	
③ご所属またはご住所	〒		
④情報保障・託児等の希望	有・無	【希望内容】	

※事前申し込み締切日:平成30年3月8日(応募者多数の場合は抽選となります。定員に満たない場合は当日参加が可能です。なお、ご提供いただいた個人情報、申込手続以外使用しません。